



[visit our website](#)

# 株式会社アイネット

[東証プライム市場：9600]

## 会社説明資料

2025年3月12日

# 会社概要



## 自社データセンターを活用した「ストック型ビジネスの情報処理サービス」と「フロー型ビジネスのシステム開発サービス」を展開するシステム会社

- 商号 株式会社アイネット
- 本社 横浜市西区みなとみらい5-1-2  
横浜シンフォステージ ウエストタワー13階
- 設立 1971年4月22日
- 資本金 3,203百万円
- 創業者 池田 典義
- 代表者 代表取締役 兼 社長執行役員 佐伯 友道
- 社員数 1,774名（連結）1,013名（単独）（2024年4月1日現在）
- 業績 売上高37,763百万円、営業利益2,887百万円、当期純利益2,197百万円（2024年3月期）
- 事業所/支店/データセンター  
東京事業所、川崎PODセンター、札幌支店、仙台支店、中部支店、大阪支店、  
中四国支店、福岡支店



本社（横浜市）



第1データセンター



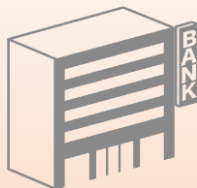
第2データセンター

## システム開発サービス

## 情報処理サービス

2025年3月期第3四半期

金融機関向け原価管理、  
ローン・システム



商品管理、電子マネー・  
クレジットカード・ポイント  
管理



スマートフォンや  
カーナビの機能向  
上付加サービス



衛星の設計・組立・検査、  
小惑星探査機などの運用



航空会社の予約  
システム、鉄道関  
係のシステム構築



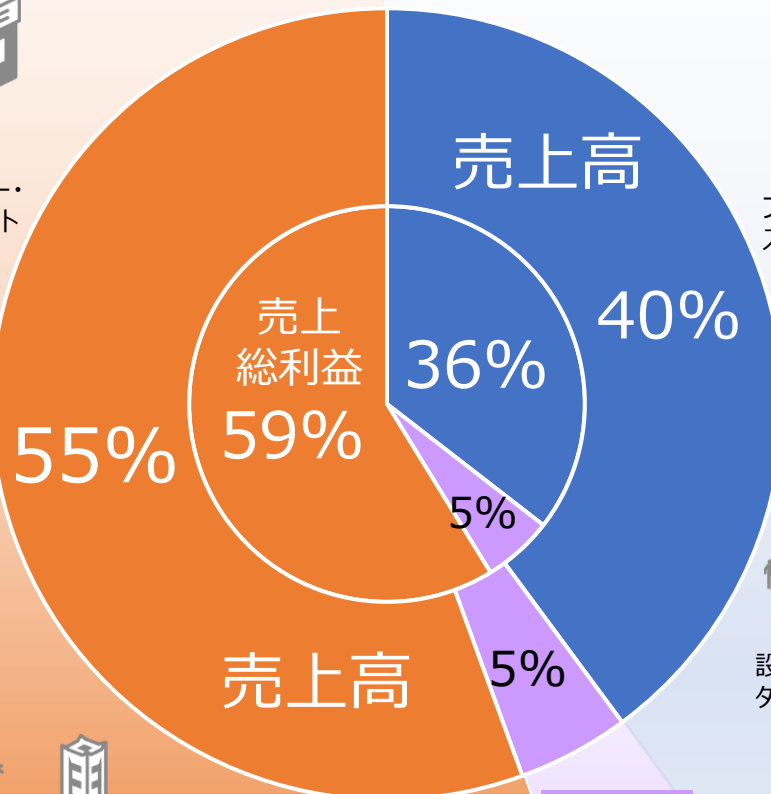
診断用装置などの医療  
機器、在宅医療機器の  
設計開発



製造・販売など様々な  
分野のシステム開発



セキュリティ対策強化に  
向けたトータルセキュリ  
ティソリューション



プロパンガス業者向け管理・  
スマートメーター・決済システム



GS向け計算・決済  
クラウドサービス

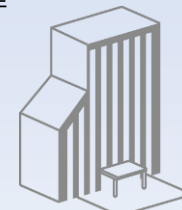


自社データセンターを利用し、多種多様のクラウドサービスを展開



設計施工図面のデジ  
タル管理

納税通知書  
等のプリント、  
封緘、発送



納税や年金など重要な通知をデータセンター内で厳密に処理



サービスに付随する機器販売



コールセンター業務やデータ入力作業

## 【その1】 社会インフラを支えるストックビジネス

- ✓ 自社所有データセンターを活用したクラウドサービス
- ✓ エネルギー産業のバックボーンを支えるプラットフォーム・サービス
- ✓ 金融機関向け業務システム（カードローン、原価管理など）は多くの銀行、ノンバンクの業務システムとして採用されています。

## 【その2】 情報処理・開発・BPO\*のワンストップサービス

- ✓ クラウドサービスの提供、データ処理、計算に留まらず、関連するシステムの開発から、処理結果の顧客宛て通知（電子メール、郵便）など、一連のプロセスを自社で対応することが可能。
- ✓ 既存顧客からは、合理化、DX化の力強いパートナーとして評価。

## 【その3】 実績は多数、顧客と深く長い取引関係を構築

- ✓ 業歴54年に及ぶ、特にエネルギー産業、流通業（コンビニなど）、金融業（銀行、ノンバンクなど）及び人工衛星開発などで多くの実績があります。
- ✓ これらの実績を背景として、安定した受注を続けています。

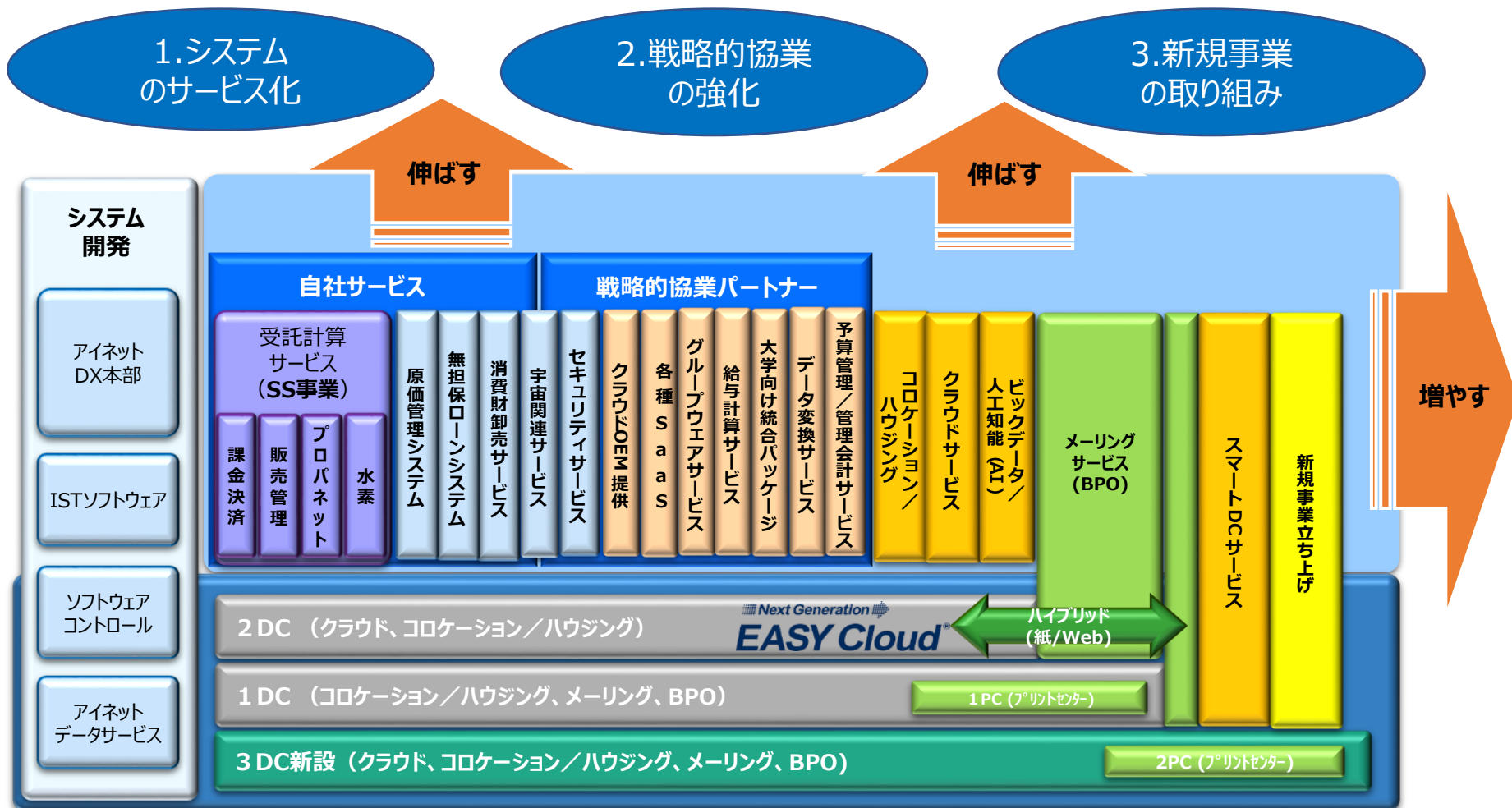
\*) BPO : Business Process Outsourcing（業務の企画・設計・実施までを一括してアウトソーシングすること）

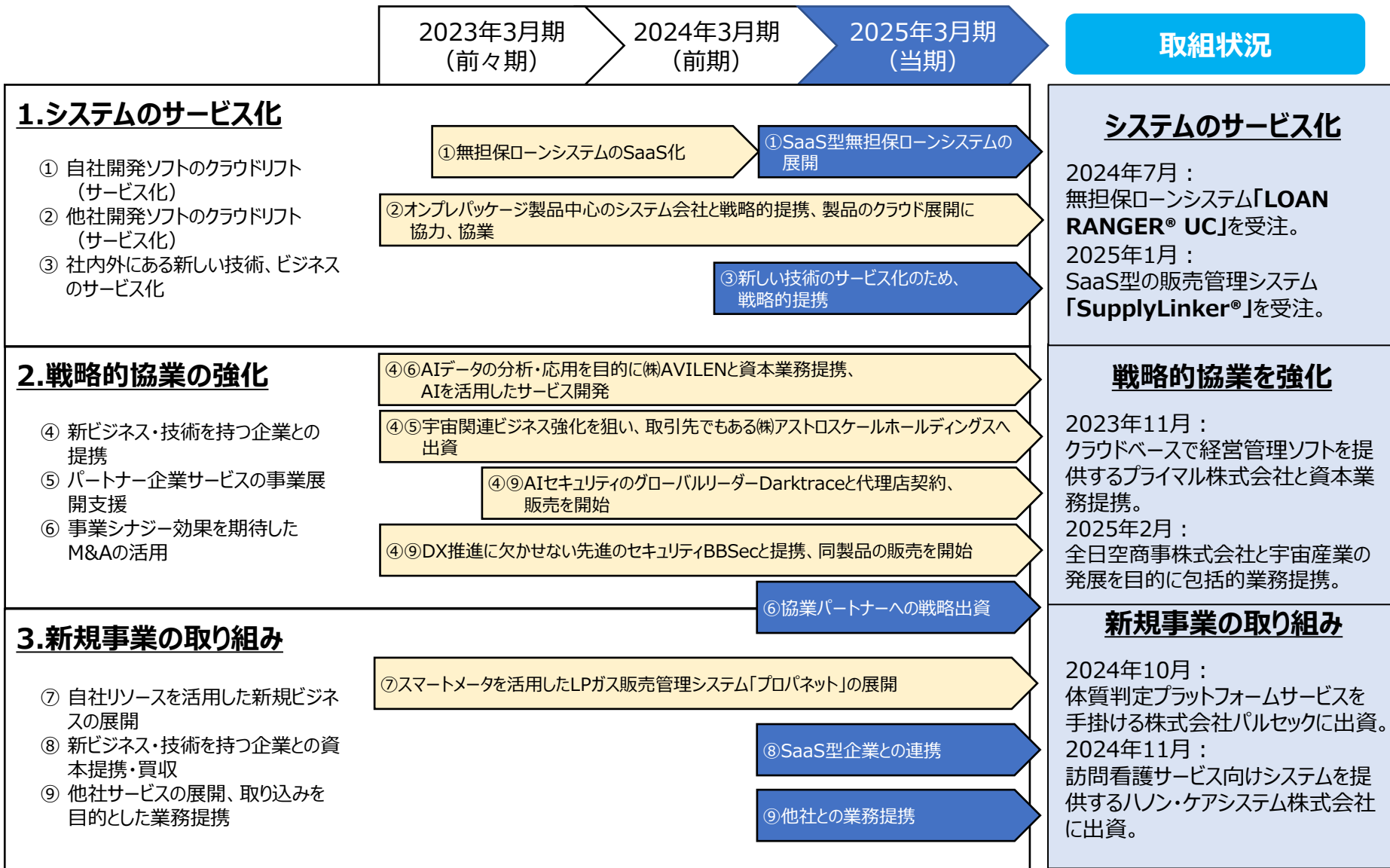
# 事業戦略



# 事業戦略：「プラットフォーム戦略」

社会が如何に変わろうとも、当社グループは変化に合わせた形で、プラットフォーム上のサービス・パートナーを**増やし、伸ばす**ことで成長する







## inet annexデータセンターの開設

(2025年1月31日 発表)

当社は、1997年に自社データセンターを設立して以来、様々な業種・業態のお客様にデータセンター・クラウドサービスを提供してまいりました。近年、データセンター利用の需要が増大しており、当社データセンターの稼働率も高止まりしております。今後、増大するお客様の需要にしっかりと応えるため、東日本電信電話株式会社の施設内に自社データセンターと連携する新たなデータセンター「inet annex」を2026年1月に開設することにしました。

## 富士通コワーコ株式会社から一部事業の譲受け

当社は、2024年12月2日付けで、富士通コワーコ株式会社が手掛ける各種ドキュメントの印刷、複写、製本及び電子化などを譲受けました。富士通コワーコは、公共サービスのバックヤード業務といった社会インフラシステムに位置付けられる業務を行っています。この当該事業と当社の「BPO(メーリング)サービス」の親和性が高く、当社サービスの拡充とお客様の利便性向上につながると判断し、今回譲受けを決定しました。

## 全日空商事株式会社と包括的業務提携

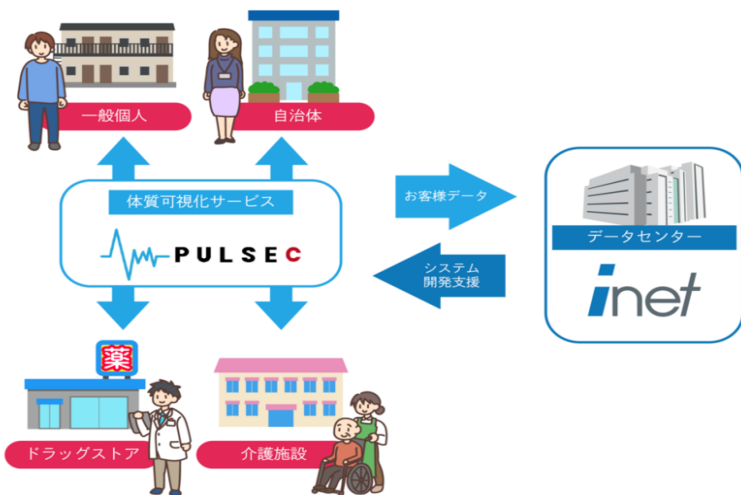
当社は、全日空商事株式会社と2025年2月21日に両社の宇宙事業拡大、および日本の宇宙産業発展に貢献することを目指し、包括的業務提携契約を締結しました。当社の長年培ってきた宇宙産業の技術的知見と、全日空商事がグローバルな航空産業で磨いてきた商社機能を組み合わせることで、日本の衛星サプライチェーンの強靱化と衛星の量産化に向けた変革に挑んでまいります。



## 中医学とテクノロジーを融合した体質判定プラットフォームサービス事業を手掛けている株式会社パルセックに出資 (2024年10月 出資)

### ＜事業シナジー＞

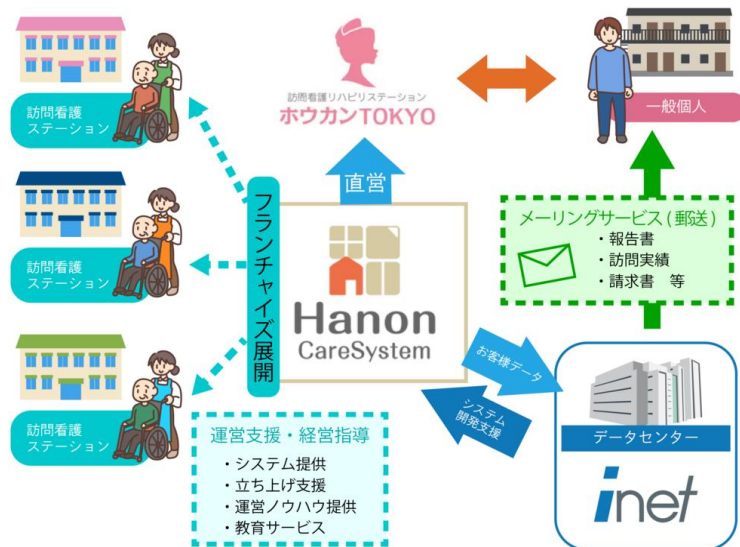
- セキュリティレベルが高い当社クラウドサービスを利用することで、セキュアな環境でお客様のデータを管理
- 当社のシステム開発事業と連携し、AIを活用した画像解析システムを開発することで、サービスや機能を強化し、より多くのお客様へ体質可視化サービスを提供
- 当社とパルセック協働により、企業の健康経営や、ヘルスケアを通じた社会貢献を推進



## 訪問看護ステーション「ハウカンTOKYO」を展開するハノン・ケアシステム株式会社に出資 (2024年11月 出資)

### ＜事業シナジー＞

- セキュリティレベルが高い当社クラウドサービスから電子カルテシステムを提供することにより、セキュアな環境で顧客のデータを管理
- 当社のシステム開発事業、メーリングサービス事業と連携し、今後事業拡大していく上での体制強化
- 介護事業を営む当社顧客に対して、訪問看護サービスのフランチャイズを紹介



# 業績について



# 業績推移 (2023年3月期～2025年3月期)

| (単位：百万円)             | 2023年3月期 |        | 2024年3月期 |        | 2025年3月期    |        | 予想対比* |
|----------------------|----------|--------|----------|--------|-------------|--------|-------|
|                      | 計画       | 実績     | 計画       | 実績     | 第3四半期<br>実績 | 通期予想*  | 進捗率   |
| 売上高                  | 33,500   | 34,988 | 37,700   | 37,763 | 28,684      | 39,500 | 72.6% |
| 営業利益                 | 2,640    | 2,129  | 2,750    | 2,887  | 1,648       | 2,500  | 65.9% |
| 経常利益                 | 2,770    | 2,175  | 2,900    | 2,935  | 1,676       | 2,500  | 67.1% |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 1,830    | 1,343  | 2,020    | 2,197  | 1,440       | 2,200  | 65.5% |

注) 金額は百万円未満切り捨て、増減率は小数第2位で四捨五入。

\*) 2025年1月31日 通期予想の修正に基づく数値。

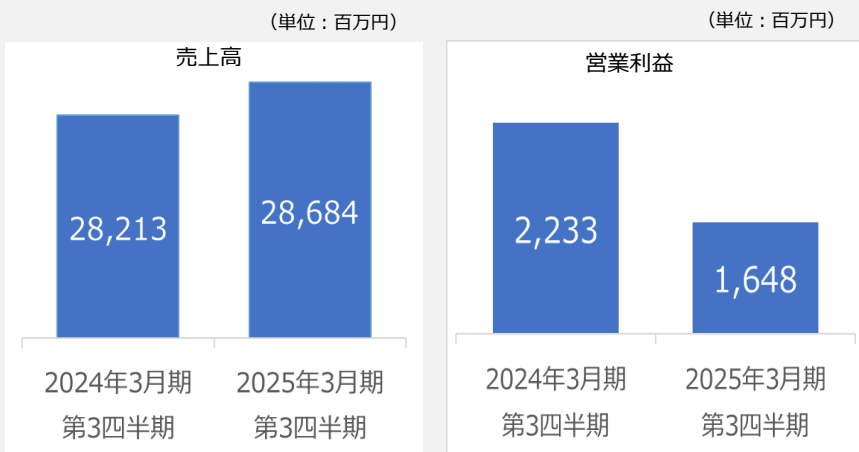
# 業績サマリー (2025年3月期第3四半期)

売上高  
28,684 百万円  
前年同期比増減額 471 百万円  
前年同期比増減率 1.7%

営業利益  
1,648 百万円  
△584 百万円  
△26.2%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益  
1,440 百万円  
△61 百万円  
△4.1%

## 前年同期との比較



## 売上高/営業利益(累計)の概況

**売上高**は前年同期比で増収。ストックビジネスの情報処理が牽引。システム開発は、金融、製造、宇宙関連が下支えたものの、エネ・流通不調が響き減収。

**営業利益**は減益。2Q、3Q単体で例年並みの水準を確保するも、1Q不振を補いきれず。

**四半期純利益**は前年同期並みを維持。有価証券売却益6.3億円の計上が寄与。

### 【サービス別状況】

#### 受託計算サービス (SS: サービスステーション) \*

- SS向け情報処理は、現状を維持し、売上も堅調推移。
- SS向け自社システムの償却費負担が重い。価格転嫁を進めているが、完全に転嫁できず、収益性は低下。

#### データセンター・クラウドサービス\*

- 販売価格改定と新規顧客の獲得増により増収を達成。
- クラウド関連の原価増により売上総利益は低下。適正価格への対応を継続中。

#### メーリングサービス\*

- 2Q、3Q単体で新規受注増、富士通コワーコBPO部門との経営統合効果もあり、増収増益を達成。

#### システム開発サービス

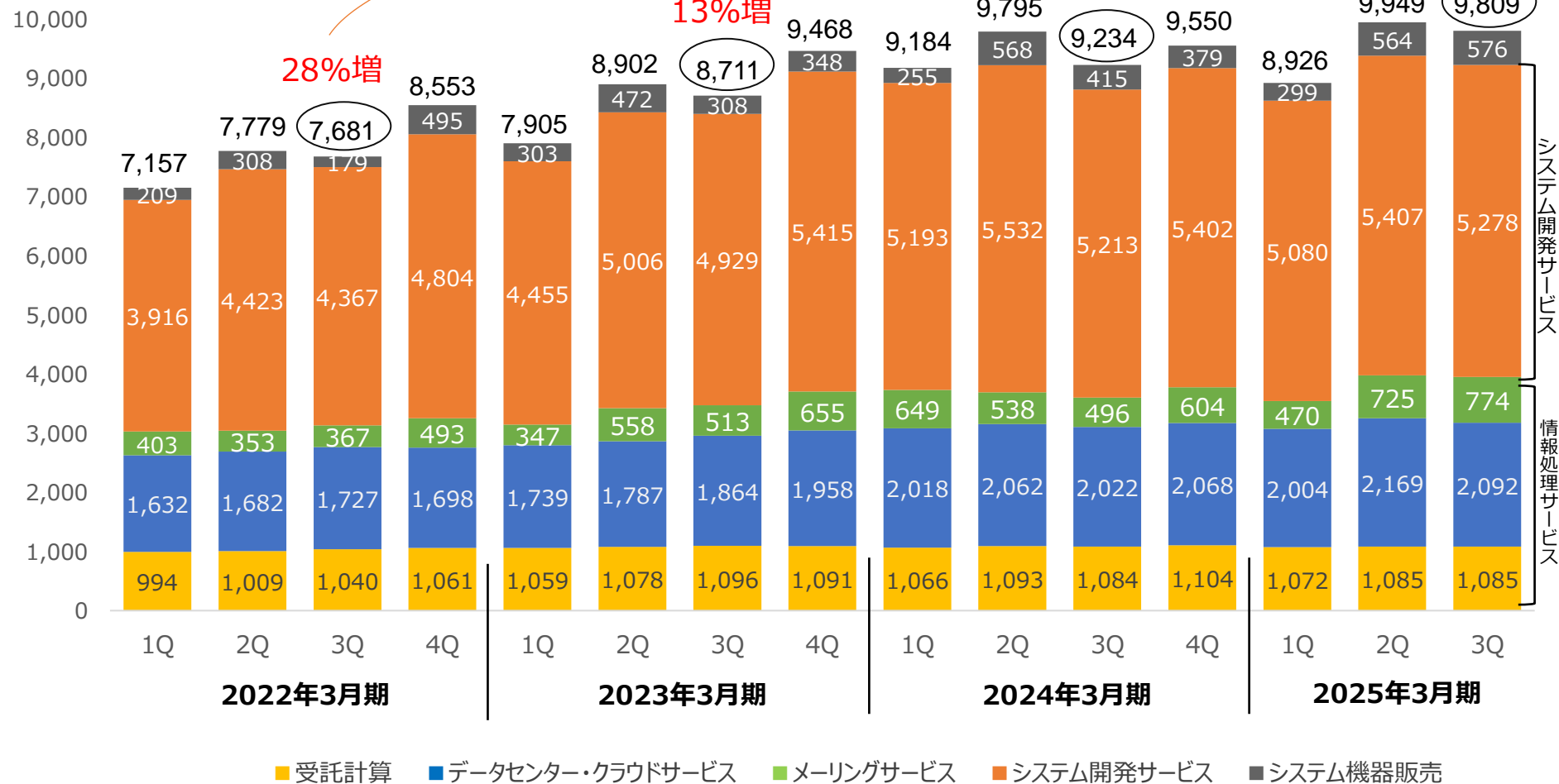
- 上半期減収なるも3Q単体で増収に転じる。エネ・流通業向けが落ち込む一方、金融・製造業向けが伸び、宇宙衛星事業も順調。自社開発サービスを拡販中。

(\*) 情報処理サービス

注) 金額は百万円未満切り捨て、前年同期比増減率は小数第2位で四捨五入。 13

# 四半期業績の推移 (サービス区分別売上高)

(単位：百万円)

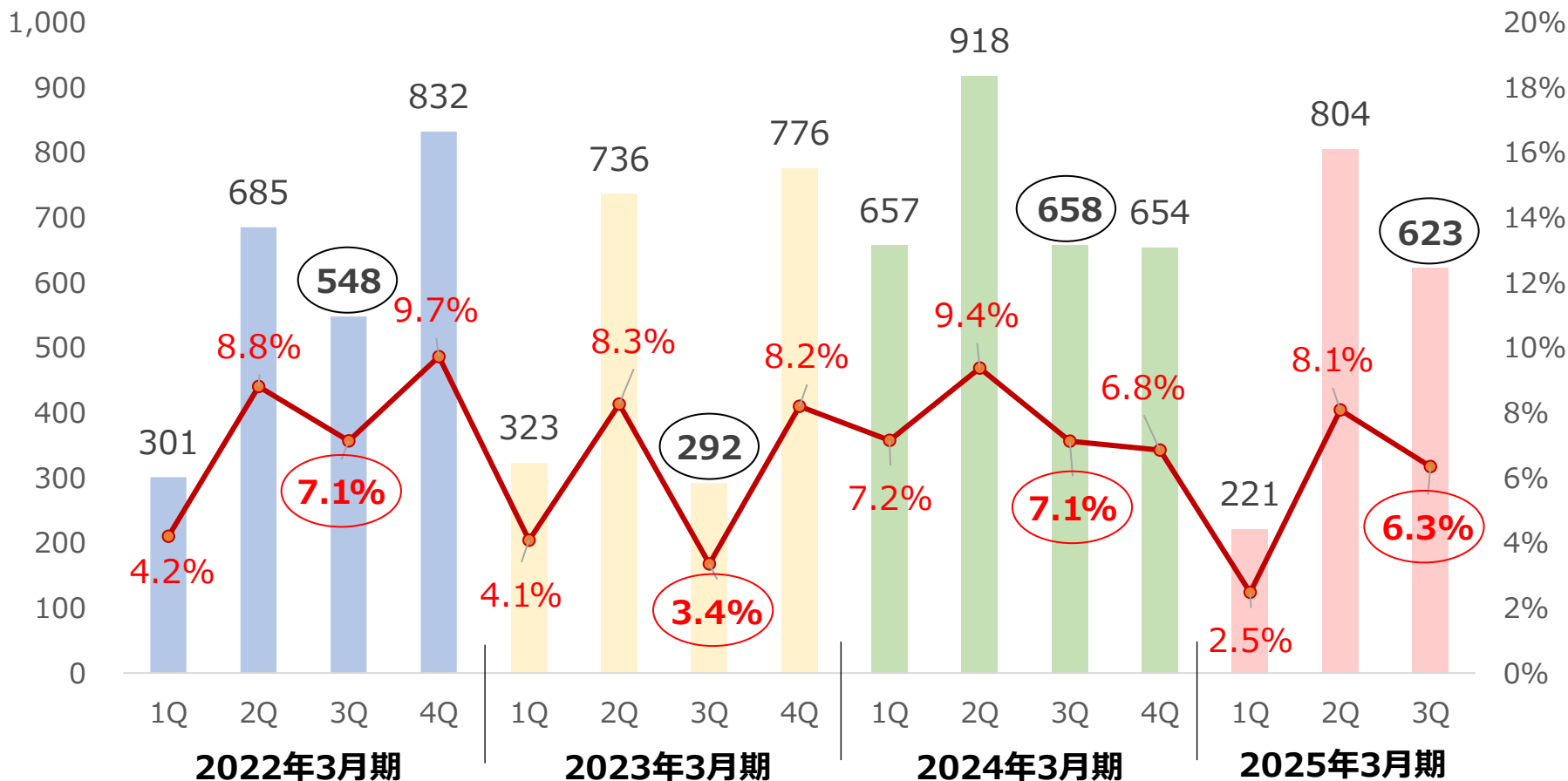


注) 金額は百万円未満切り捨て、合計が一致しないことがあります。

# 四半期業績の推移（四半期営業利益）

(単位：百万円)

赤線は営業利益率

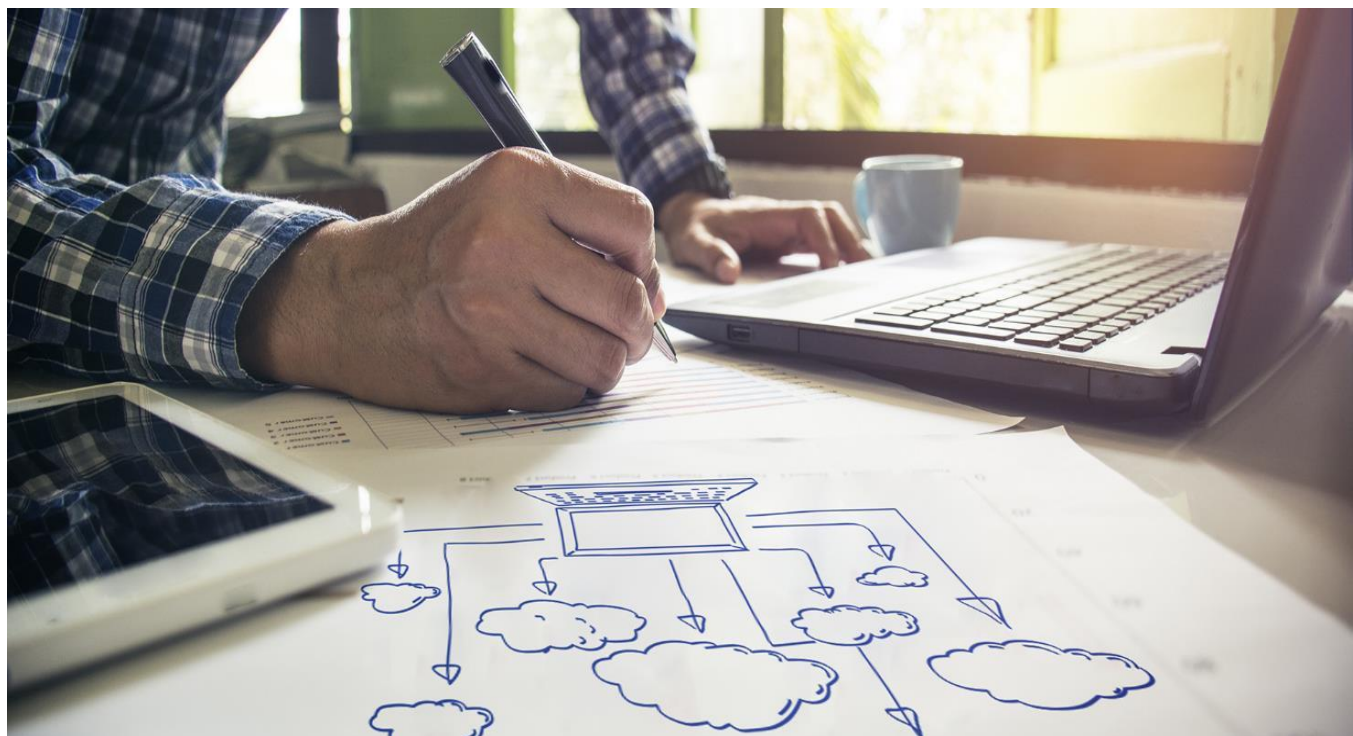


四半期ベースでみると当社の業績には季節性があります。

- 傾向として、第1四半期、第3四半期よりも、第2四半期、第4四半期に業績が伸びる傾向あり。これは売上高の約6割を占めるシステム開発の検収時期の関係。

注) 金額は百万円未満切り捨て、利益率は小数第2位で四捨五入。

# 当社が展開する主なサービス紹介





高い安全性と最新テクノロジーを備えた自社データセンター。  
豊富なサービスメニューでお客様に最適なサービスを提供。

## 第3データセンター新設を検討している理由

- 1) 旺盛な需要への対応  
既存センターの稼働が高まっている状況
- 2) 最新技術への対応  
GPUサーバーなどの生成AI向け高機能サーバー導入対応

## 現時点での検討状況

- 1) 複数の候補地が存在
- 2) 賃借、M&A活用も視野
- 3) BPOセンターの活用

注) 現時点では何ら決定している事実はありません。



第1データセンター

780ラック

第2データセンター

1,020ラック

1期棟

2期棟

1,200ラック

inet annex  
データセンター(仮称)  
※2026年1月開設予定

アイネット全体  
能力：3,000ラック  
延床面積22千平米

第3データセンター  
(検討中)

1998年

2009年

2014年

2025年

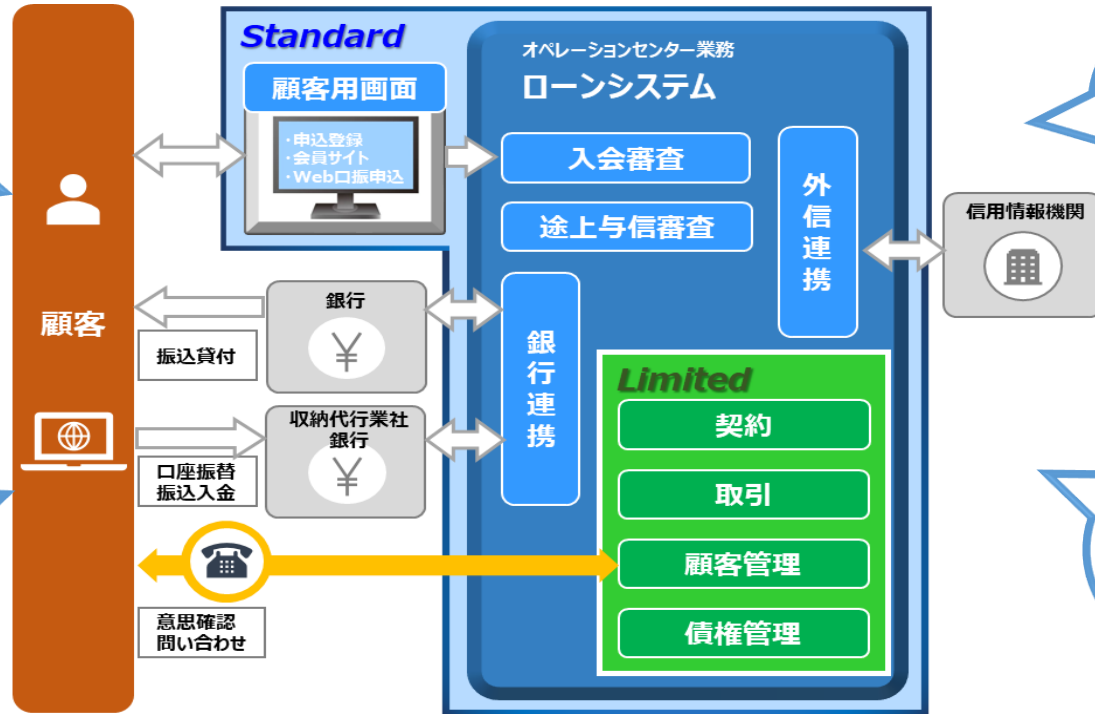
データセンターの建設時期を示す

# サービス (LOAN RANGER® UC)

銀行・ノンバンク向けカードローン統合融資システム、全ての業務を一つのシステムで対応。SaaSモデル化した『LOAN RANGER® UC』も提供。

お客様をお待たせしない  
スマートな操作性

入金管理から  
債権回収まで網羅



情報センターへの  
報告/照会も  
自動実行

銀行やATMとの  
インターフェースに  
対応



LOAN RANGER® UCに関する動画をIRTV\*のYouTubeにて配信中

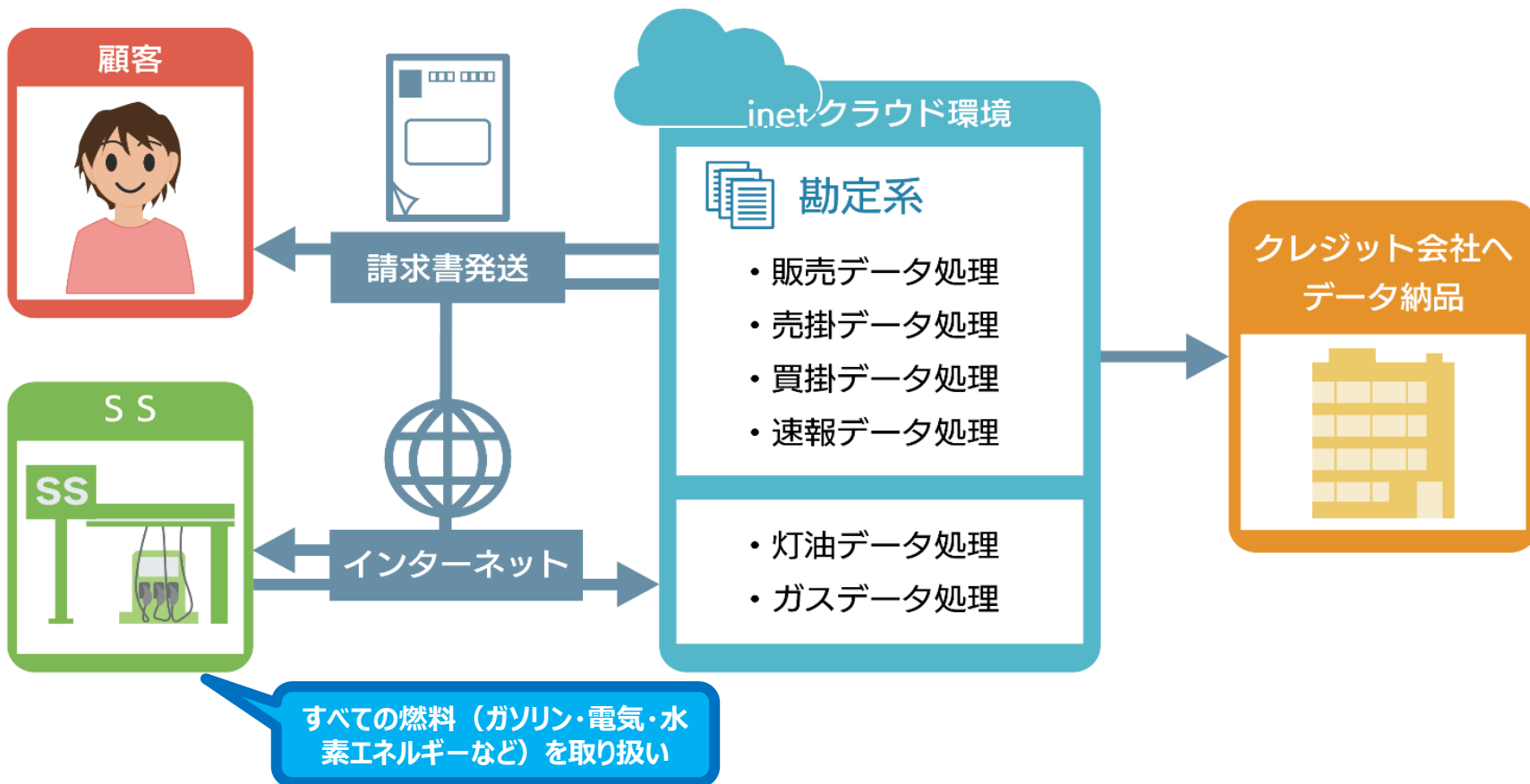
動画はこちら



\*IRTVとは

「動画」で投資家と企業を繋ぐビジネスモデルやビジョンがわかる株式会社IR Roboticsが運営する動画メディアです。

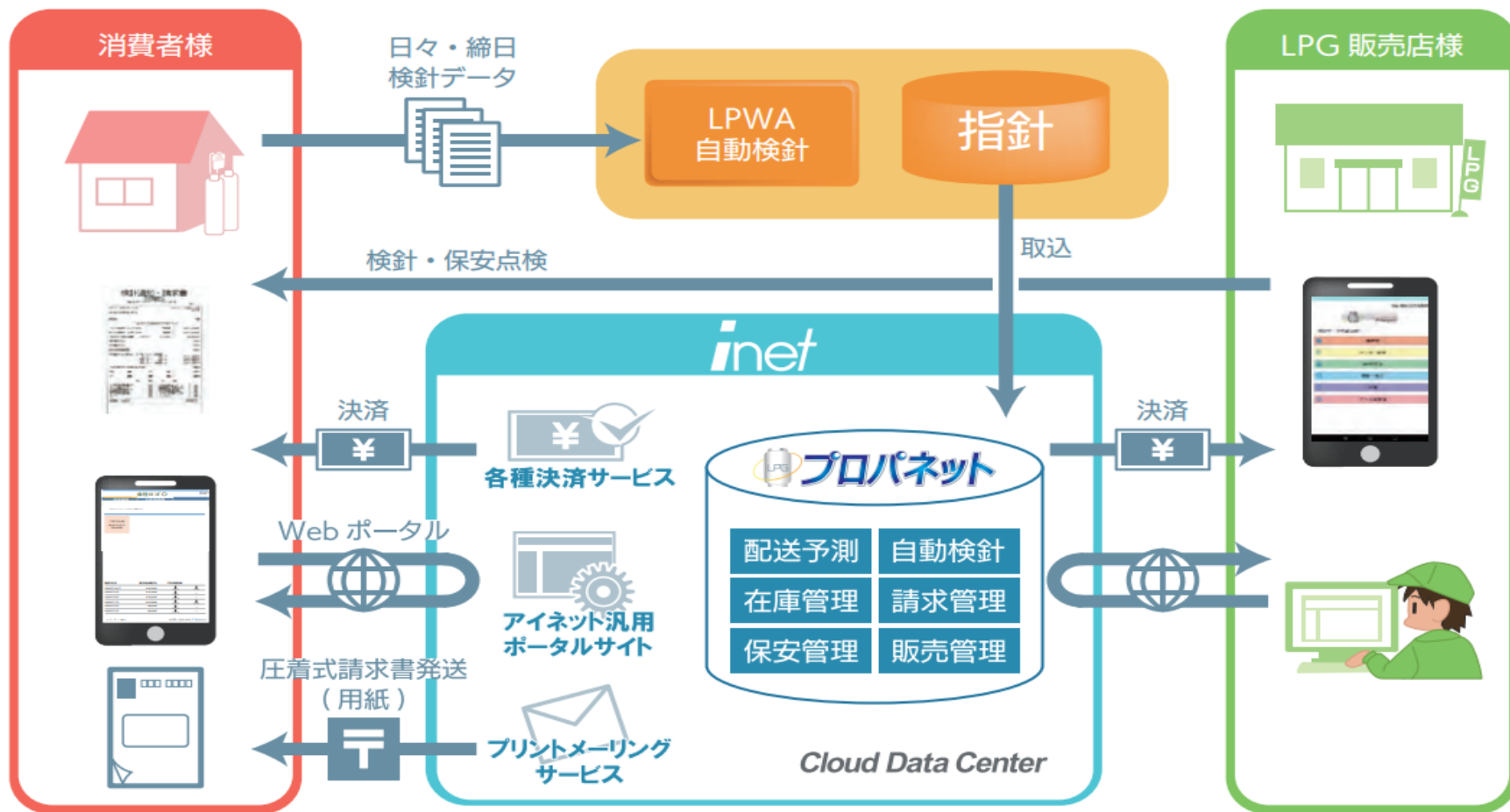
社会インフラを支えるエネルギー産業向けプラットフォーム  
ガソリンスタンド向け販売管理・課金システム「全国シェア約3割」



石油元売（ENEOS様・出光昭和シェル様・キグナス石油様・太陽石油様）、  
商社（伊藤忠エネクス様・三菱商事エネルギー様・丸紅エネルギー様・三愛オブリ様）、小売業者様

# サービス (プロパネット)

社会インフラを支えるエネルギー産業向けプラットフォーム  
LPガス業者向け販売管理・課金システム、取引社数約270社 (2025年2月時点)

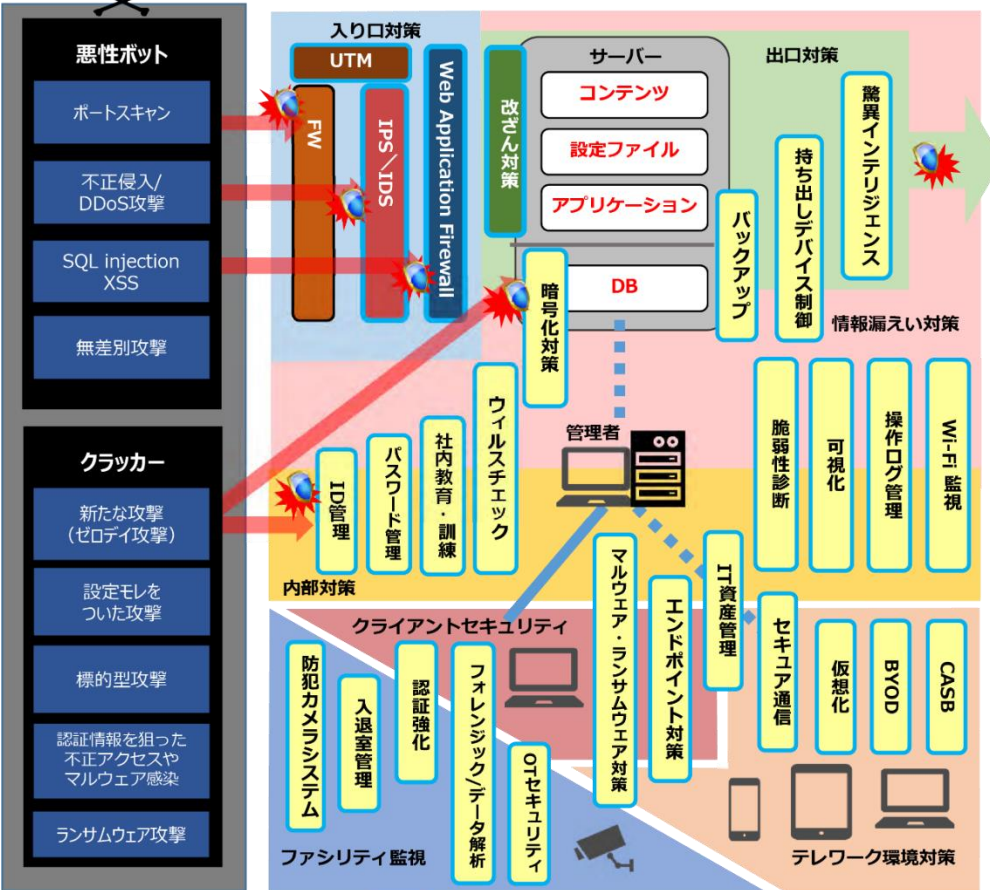


# サービス (セキュリティ)

多彩なセキュリティ商品群を提供  
お客様の現状を分析し、最適なプランをご提示



セキュリティ全体図



青枠はご提供可能なソリューション 2024年4月1日現在

お客様の様々なニーズに合わせた  
トータルセキュリティソリューションをご提供

inet Security Solution

セキュリティの動画をIRTV\*にて配信中

IR TV  
東経プライム 9600

**アイネット**

IRニュース

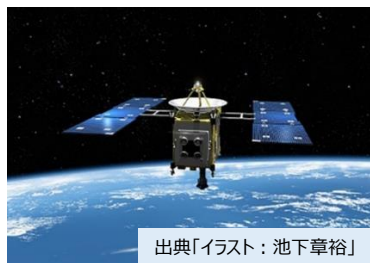
セキュリティビジネスについて

動画はこちら

\*IRTVとは  
「動画」で投資家と企業を繋ぐビジネス  
モデルやビジョンがわかる株式会社IR  
Roboticsが運営する動画メディアです。

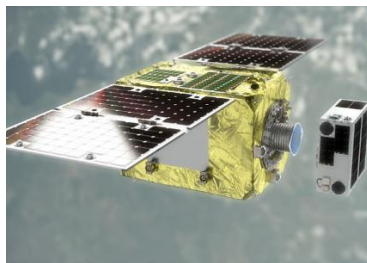
# サービス (宇宙)

人工衛星のシステム設計・組立・運用の請け負い。約半世紀にわたる業歴あり。  
「設計、制御プログラム開発、製造組立、検査/試験、打上支援、運用、データ処理」  
実績：日本初の気象衛星から「はやぶさ」「はやぶさ2」など日本の宇宙開発プロジェクトに参加。直近では「アストロスケール」「QPS研究所」の衛星開発にも参画。



出典「イラスト：池下章裕」

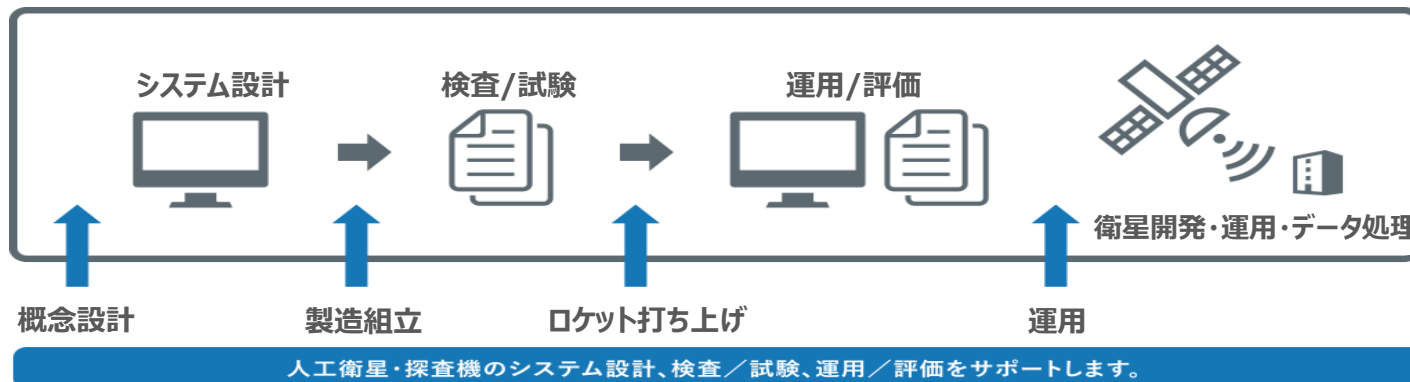
小惑星探査機「はやぶさ」



宇宙デブリ除去 実証衛星



地上局運営 (※当社敷地内に設置)



当社の宇宙事業に関する動画をIRTV\*のYouTubeにて配信中



動画はこちら



動画はこちら



\*IRTVとは  
「動画」で投資家と企業を繋ぐビジネスモデル  
やビジョンがわかる株式会社IR Roboticsが  
運営する動画メディアです。

# ESG経営・SDGsの取組について



## 2040年までにカーボンニュートラルを実現

アイネットグループは、地球環境問題への真摯な取り組みの一環として、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明し、2040年度までに、アイネットグループのバリューチェーン全体における温室効果ガス排出量ゼロの実現を目指します。その第一歩として、2030年度までに当社のデータセンターで使用する電力の一部を再生可能エネルギー由来のものに切り替えます。この取り組みにより、アイネットグループによる温室効果ガスの排出量（Scope1,2相当）を2022年度対比で50%以上の削減を実現する見込みです。



## 温室効果ガス削減の取り組み

2024年1月1日より、第1データセンターで利用する電力の一部について、伊藤忠エネクス株式会社様のオフサイトPPAサービスとして、埼玉県内にあるアイミッションズパーク加須およびアイミッションズパーク吉川美南の屋上で発電した再生可能エネルギー由来電力を利用しています。

再生可能エネルギー由来電力は、化石燃料由来の電力に比べて、温室効果ガスの排出量を大幅に削減し、環境に与える影響を抑えることができます。当社は、自社データセンターで使用する電力を再生可能エネルギー由来に切り替えていくことで、積極的に温室効果ガス排出の削減を進めていきます。

<発電所写真>

①アイミッションズパーク加須太陽光発電所



②アイミッションズパーク吉川美南太陽光発電所





## 障がい者雇用の促進： アイネット・データサービス

2009年4月、障がい者雇用の促進を目的に特例子会社（厚生労働大臣認定）を設立

※特例子会社は全国に614社、神奈川県に50社（2024年6月1日時点）あり、株式会社アイネット・データサービスはその中の1社

障がい者雇用率（グループ全体）：3.08%  
(2025年2月末時点)

### ■ 主な業務



データ入力



軽作業



スキャニング



名刺作成 他



## 【公益財団法人アイネット地域振興財団】 を通じて地域貢献

公益財団法人 アイネット地域振興財団



神奈川のよりよい地域社会の発展を応援します。

私たちは、神奈川県がよりよい社会の実現を図るべく、地域社会に主体的に貢献する活動を推進します。

### 設立以降の実績

2024年度：32団体  
2023年度：29団体  
2022年度：27団体

2019年3月一般財団法人としてスタートし、2020年1月には神奈川県より公益認定を取得。

貧困対策、地球環境対策等への活動を行うNPO団体等の活動を支援・助成する事業を通じて地域社会の発展に貢献。



社員が経営における最大の財産であるという考えのもと、社員が心身ともに健康であることこそが、持続的な企業価値向上の源泉であると考え、健康経営を推進しています。社員のみんなが安心して力を発揮できる労働環境をつくるため、ワークスタイルの変革を推進します。

## ホワイト500

7年連続認定



経済産業省 認定

## ハタラクエール2024

最上位「優良福利厚生法人(総合)」  
2年連続認定



ハタラクエール実行委員会 認証

## PRIDE指標2024

最高ランク「ゴールド」3年連続受賞

work with Pride



work with Pride 主催

## 「健康に関する主な取り組み」

- 健康経営を宣言
- 人事部・健康支援室・健康保険組合が連携



(プラチナくるみん)

厚生労働省 認定



(えるぼし)

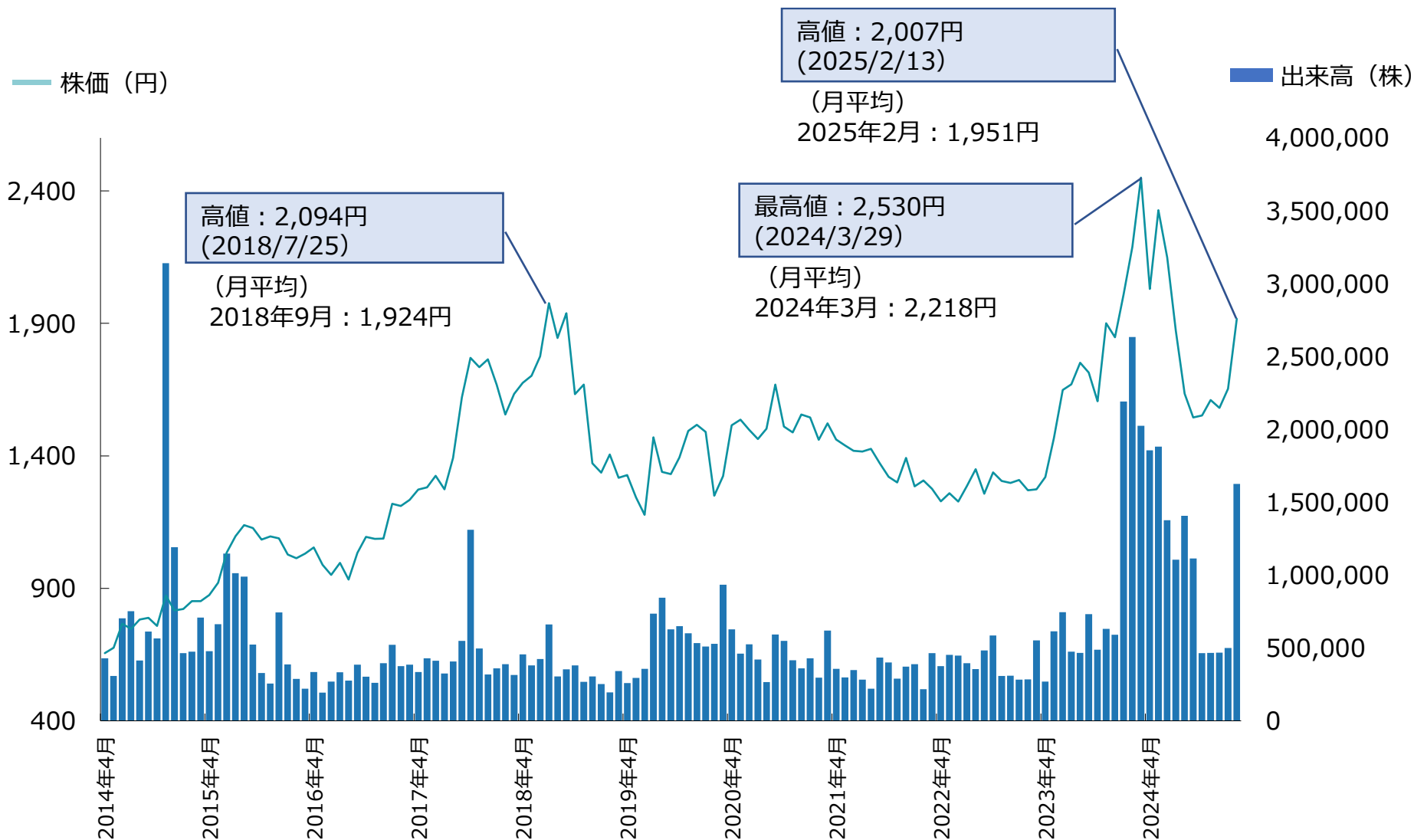
厚生労働省 認定



# 株価・株主還元について



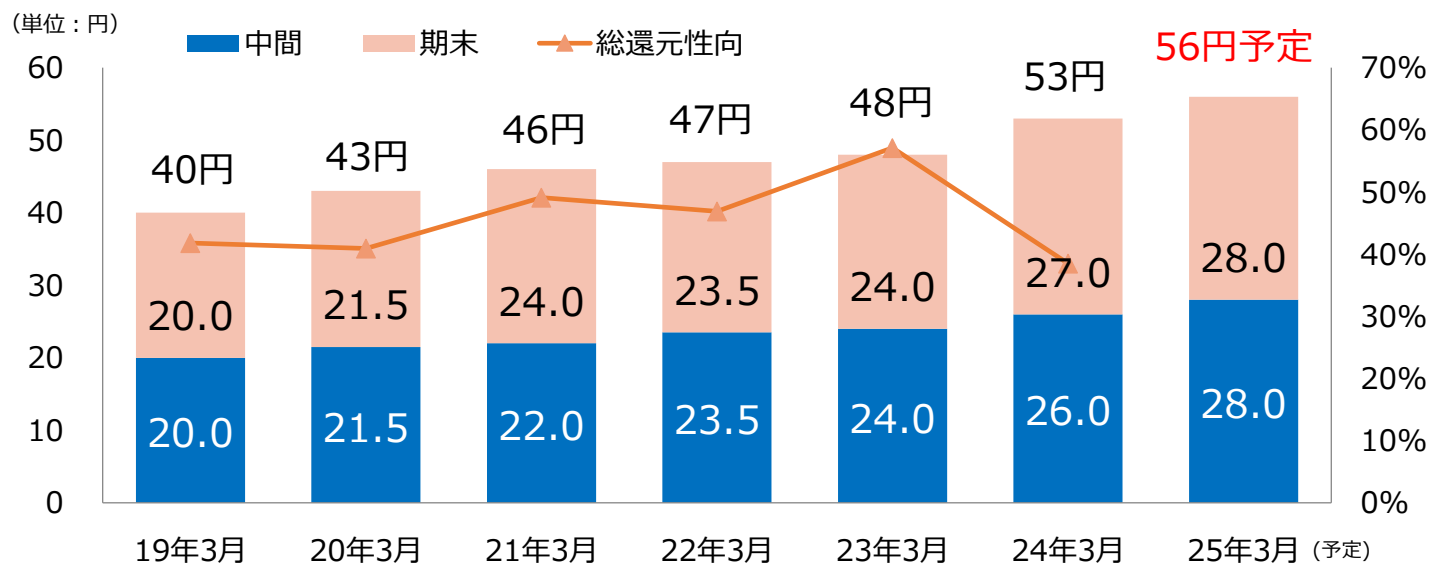
# 株価の推移 (2014年4月～2025年2月の月平均)



注) 1. 調整後終値及び出来高については月平均を表示  
2. 調整後終値については過年度に実施した株式分割を加味した額に調整。

## 《方針》

総還元性向40%以上を目処、安定的な配当を継続して実施すると共に、内部留保に努めて、今後発生する資金需要などへの対応を図る




- 2025年3月期通期 1株当たり56円配当を予定
  - **13期連続増配へ**
- 総還元性向
  - **40%以上を目処**

## 株主優待を拡充！！（2025年3月末より）

➤新たに**3月末**の株主様への優待を追加し、**年2回**実施

| 所有株式数            | 優待内容              |                   |
|------------------|-------------------|-------------------|
|                  | 3月末               | 9月末               |
| 100株以上200株未満     | —                 | QUOカードPay 500円分   |
| 200株以上500株未満     | QUOカードPay 500円分   | QUOカードPay 500円分   |
| 500株以上1,000株未満   | QUOカードPay 1,000円分 | QUOカードPay 1,000円分 |
| 1,000株以上3,000株未満 | QUOカード 2,000円分    | QUOカード 2,000円分    |
| 3,000株以上5,000株未満 | QUOカード 3,000円分    | QUOカード 3,000円分    |
| 5,000株以上         | QUOカード 4,000円分    | QUOカード 4,000円分    |

 : 今回追加

### ■ 対象株主様

3月末日時点で200株以上、9月末日時点で100株以上保有いただいている株主様

### ■ 優待内容

所有株式に応じてQUOカードPay、当社オリジナルQUOカードを  
年2回（6月下旬、12月上旬）送付

### ■ 社会への貢献

贈呈額の10%を別途、当社より障がい者支援団体に寄付

## ■ ホームページのご紹介

<https://www.daiwair.co.jp>



<https://www.nikkoir.co.jp/>



<https://www.gomez.co.jp/ranking/ir/>

<ホームページのURL・QRコード>

スマホはこちらから

PCはこちらから

<https://www.inet.co.jp/>



## ■ 統合報告書

統合報告書はこちらから



## ■ シェアードリサーチ

当社レポートはこちらから



株式会社シェアードリサーチによる第三者目線で調査・分析した企業レポートです。

## ■ IRメール配信

最新のIR情報をお届けします



ご登録はこちらから



ご登録いただいた方にIR関連情報をメールにてお届けしています。

登録は無料ですので、是非ご登録ください。

# 情報技術で*Enjoy Life*を応援します

## <免責事項>

- 本資料は、当社グループに関する情報提供を目的としたものであり、当社及び当社グループの株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載していますが、これらの情報は資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を 約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転載等を行わないようお願いいたします。

## <問合せ先>

経営戦略・IR部

TEL 045-682-0806

E-Mail [contact\\_ir@inet.co.jp](mailto:contact_ir@inet.co.jp)



[visit our website](#)